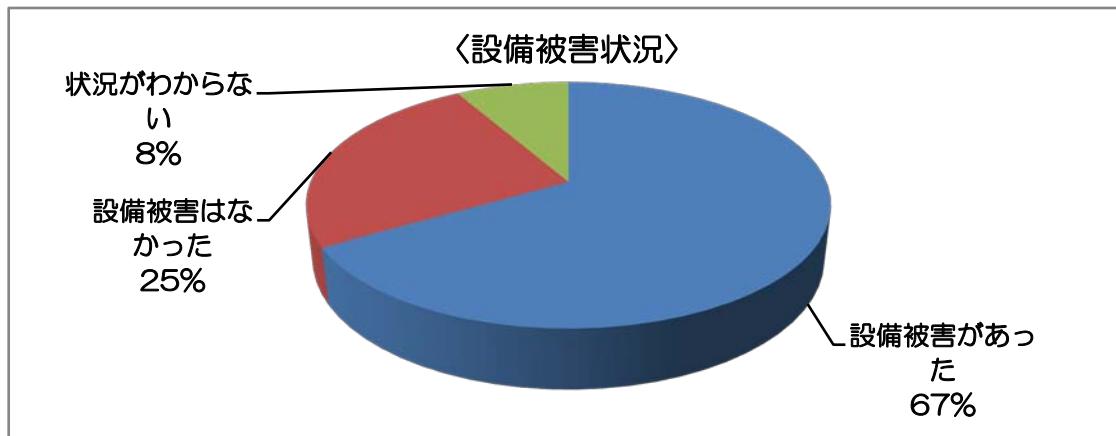


## 《図書館の防災を考える 一東日本大震災と福島県の状況からー》

### 1. 福島県内の図書館における設備被害状況

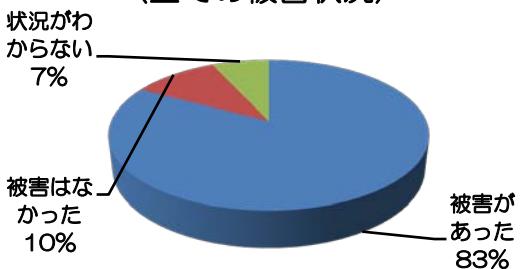
〈サンプル自治体数24/29 2012.11調査〉



〈サンプル自治体数29 2011.4調査〉

- \*「全ての被害状況」とは、施設被害、資料被害、人的被害等、何らかの被害の有無について調査したもの。
- \*「設備被害状況」とは、その中で、館内設備についてのみ調査したもの。

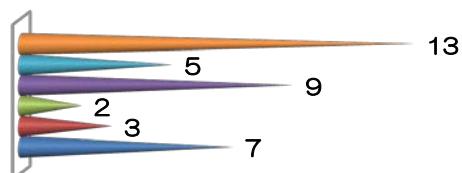
### 〈全ての被害状況〉



### 2. 設備の具体的被害状況（複数回答）

#### 〈設備被害の状況〉

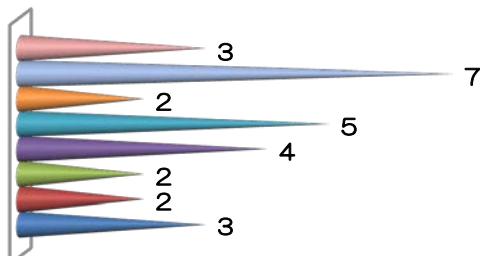
- 書架
- 空調機器
- 照明
- 業務システム関連機器
- 閲覧机
- その他



- \*その他
- ・電動稼働座席
  - ・受変電設備
  - ・舞台
  - ・監視カメラ
  - ・音響設備

#### 〈書架の被害状況〉

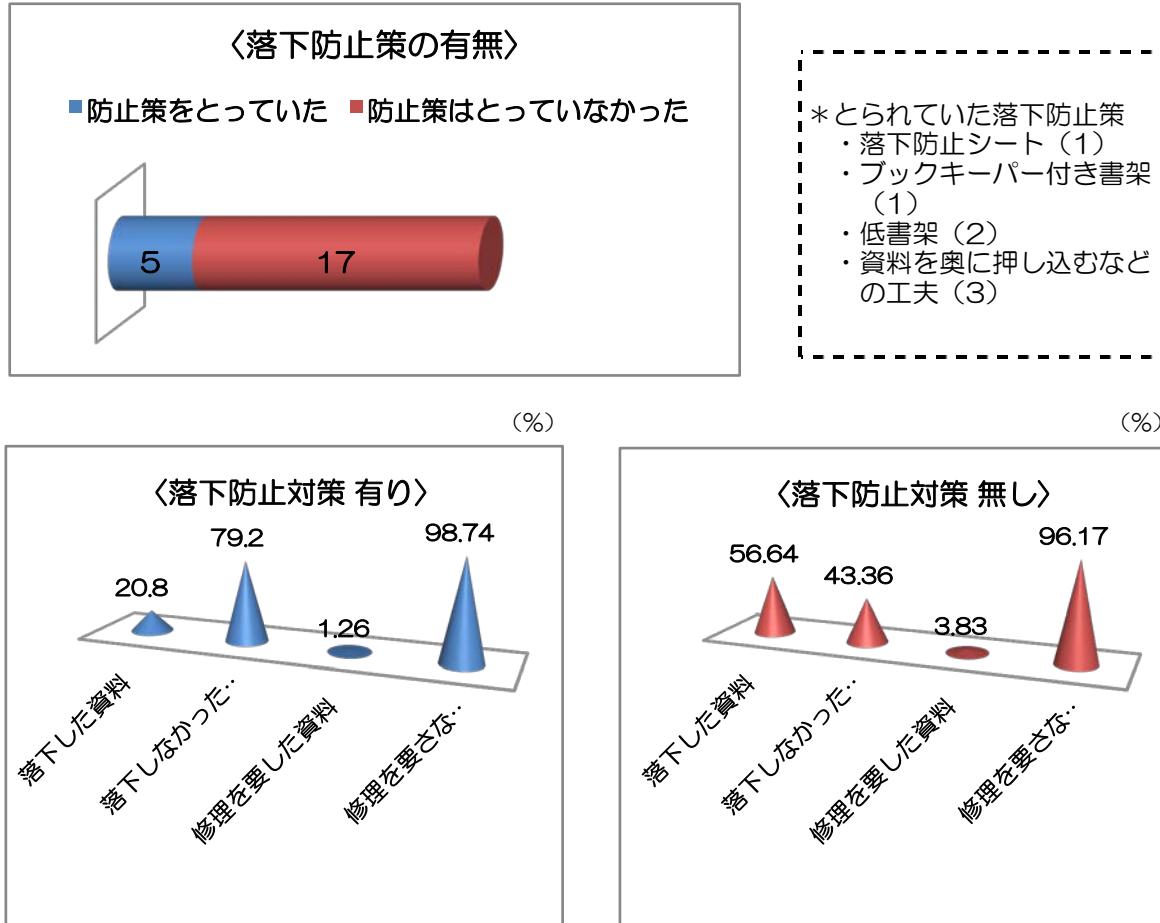
- 木製固定
- 木製付
- スチール非固定
- 周密書架
- 木製非固定
- スチール固定
- スチール造付
- その他



- \*その他
- ・自動書庫
  - ・ラウンドケース書架

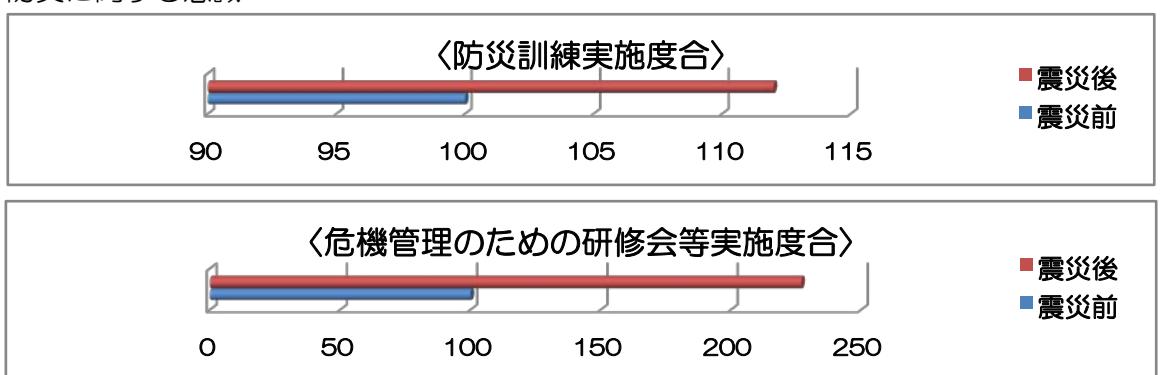
### 3. 書架の落下防止対策の有無（震災前）

〈サンプル自治体数23/29〉



\*被害の少なかった会津地区等を除くと、防止対策をとっていなかった区分においては、落下72.3%、修理5.1%となる。

### 4. 防災に関する意識



【防災訓練】 震災後は、年度内に複数実施の自治体もある。

【危機管理意識】 危機管理に対しての、職員間の共通認識（情報の共有化）への意識の向上か、震災前後での実施回数は倍以上になっている。



\*特別なことではない対応（恒常的に持ち続ける意識の必要性）。

\*声を出すなどアクティブな行動の勇気＝行動の確かさへつながる。

\*避難直後の対応の重要性

\*実務経験を活かすことによって生まれる「防災マニュアル」の意味。